

令和４年度第１回 長野市廃棄物減量等推進審議会 議事録【要旨】

【開催概要】

開催日時：令和４年６月３０日（木）１０時から１１時１０分まで

開催場所：リサイクルプラザ１階 多目的ホール

【次第】

- １ 開 会
- ２ 会長あいさつ
- ３ 環境部長あいさつ
- ４ 委員の交代
- ５ 事務局自己紹介
- ６ 諮 問
一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料の見直しについて
- ７ 議 事
一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料の見直しについて
- ８ その他
- ９ 閉 会

【会議資料】

- ・資料１ 一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料の見直しについて（諮問書写し）
- ・資料２ 一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料の見直しについて（説明資料）
- ・長野市廃棄物減量等推進審議会名簿
- ・事務局職員名簿
- ・家庭用資源物とごみの出し方保存版
- ・事業ごみの処理ガイド

【出席委員】 14 名

【欠席委員】 1 名

【事務局】 10 名

【報道・傍聴者】 0 名

【会議内容(要旨)】

1 開 会

会議の成立と公開について報告（事務局）

2 会長あいさつ

第1回の審議会の開会に当たり、一言ご挨拶申し上げます。皆さまには、お忙しい中ご足労いただき感謝申し上げます。

本日は、し尿処理手数料の見直しについて諮問を受ける予定である。

くみ取りやその料金というのは、下水道が普及しており生活の中で触れる機会が少なくなっているが、事務局の説明を聞き、現状を理解していただければと思うので、どうぞよろしくお願いしたい。

また、昨年度、本審議会では長野市一般廃棄物処理基本計画の策定とごみ処理手数料の見直しについて審議をしたが、今年度の審議事項は、このし尿処理手数料の見直しのみになる予定。引き続きどうぞよろしくお願いしたい。

3 環境部長あいさつ

令和4年度第1回長野市廃棄物減量等推進審議会の開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。お忙しい中ご出席いただいたこと、感謝申し上げます。

長野市廃棄物減量等推進審議会は、長野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第28条に規定される法定の審議会となっている。委員の皆さまには、ごみの減量、再資源化、し尿処理等に関する事項についてご審議いただくことになる。

本日は、し尿及び生活雑排水処理手数料の見直しについて諮問をさせていただく。

本手数料は、市の定める「行政サービスの利用者の負担に関する基準」により、3年ごとに見直しをしている。委員の皆さまの幅広い見識の中から、ご意見をいただければと思う。

さて、令和3年度のごみ処理の状況についてご報告申し上げます。令和3年度のごみ量は、集団回収量を含めた量で120,584トンとなり、平成以降最小の数字となった。令和2年度には新型コロナウイルスの影響により大きく落ち込んだ事業ごみが572トン増加したが、一方で家庭ごみが2,229トン減少したことから、ごみ量が最小となった。

今後も引き続き、ごみの減量と分別の徹底を呼び掛けてまいりたい。

本日は、どうぞよろしくお願いしたい。

4 委員の交代

久保田委員から下條委員への委員交代の報告及び委嘱書の交付。

新規就任の下條委員あいさつ。

5 事務局自己紹介

「事務局職員名簿」の順に自己紹介（事務局）

6 諮問

「一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料の改定について」諮問書を環境部長から小木曾会長へ手交

7 議 事

一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料の見直しについて

◇資料 2 「一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料の見直しについて」により説明（事務局）

また、検討課題として、仮設トイレの手数料の取り扱いについて口頭説明。

- ・し尿収集では、家庭や事業所等の常設トイレから定期的に収集するものと、工事現場やイベント会場に臨時で設置された仮設トイレから依頼の都度、収集するものがある。
- ・収集事業者から、仮設トイレの収集は急な依頼に対応する場合も多いうえ、収集量も少量で効率が悪いことを踏まえ、周辺自治体の例にならって加算料金等を考慮して欲しいとの要望を受けている。
- ・今後、仮設トイレの取扱について、実態を調査するとともに課題等を整理し、本審議会でご意見をいただきたいと考えている。

（会長） ご質問等ありましたらお出しいただきたい。

<以下、質疑応答>

（浅野委員） し尿処理で発生した汚泥については、脱水後佐久市にある民間処理施設へ搬入し堆肥化しているとのことであるが、運搬コストもかかる中で、例えば下水道の汚泥処理施設で処理する方法や、メタン発酵などの方法と時間やコスト面の比較をしているのか。

（事務局） 汚泥については、従来から堆肥化して有効活用を図っている。近隣に処理施設がないため、止む無く佐久市の事業者に委託している。

今後、より資源として有効活用が可能で効率的な方法があれば検討してまいりたい。

（笠原委員） し尿処理には専用の処理施設や収集体制が必要なことから、どうしても経費がかかる。市では公共下水道等の利用について働きかけているか。

（事務局） 上下水道局で下水道への接続が可能な世帯等に対しては、勧奨を行っている。

しかしながら、接続が可能であっても、水洗化工事費の負担など経済的な理由から移行されない方もいると聞いている。

また、地形条件から管路が設置できない地域もあり、合併処理浄化槽を利用している世帯もある。

さらに、地震や水害等で下水道処理ができない場合や仮設トイレへの対応もあるので、今後もし尿処理施設や収集体制の確保を図っていく必

要がある。

(河西委員) 手数料は安いに越したことはないが、今後も全般的に収集量、処理量が減っていくとすれば、手数料は将来どのようなになるのか。

(事務局) し尿処理手数料については、収集費用に基づき算定しており、衛生センターにおける処理費用等は含めていない。

利用者の減少とともに収集量も減少していくが、収集費用については収集車両や人員体制の維持に必要な費用もあり、また人件費や燃料費等の上昇もあるので、収集量に応じて減少するものではない

手数料は収集見込費用を収集見込量で除した額に基づき算定しているため、収集量が減少すれば、一般的に手数料は上昇していくものと考えている。

(河西委員) 個人的な見解として、し尿、生活雑排水は大切な資源と考えている。北欧では、バイオマスとして発電に利用するなど資源として有効利用をしているので、将来的には長野市でもそのような資源化の検討をお願いしたい。

(小木曾会長) 研究が進み、新たなエネルギー化や資源化に向けた課題が解決していけば良いと思う。

(徳武委員) 下水道接続の質問は過去にも出ている。いろんな家の事情があって下水道に繋がれないというのも何度もお聞きした。

収集体制の確保については、事業者の経営努力の問題としては、将来、限界が来るのではないかと感じる。その辺りを皆で考えていく必要がある。

(小木曾会長) 確かに事業者だけに、し尿収集体制を委ねて良いのかという問題はあると思う。市との関係性も含め、改めて将来に向けて検討していただければ良いと思う。

(浅野委員) 市内の4人家族で下水道を使っている家庭の下水道料金と、くみ取りを利用している家庭の料金負担の比較ができるようであればお願いしたい。料金体系が適切なのか、判断する材料に繋がると思う。

8 その他

◇家庭用資源物とごみの出し方保存版及び事業ごみの処理ガイドについて説明 (事務局)

本日の議事録は、事務局でまとめたものをお送りし、承認後に公開したい。簡単な日時や概要等をまとめた簡易的な開催結果と本日の資料は、別途ホームページで公開させていただく。

次回の審議会では、し尿雑排水の手数料を事務局として試算させていただきたいと思うので審議をよろしく願います。(事務局)

9 閉 会

(午前 11 時 10 分閉会)